

事務事業名	三国社会福祉センター管理運営事業 三国			事業コード	03010300101
所管部署	福祉課（三国支所）	電話	82-8903	記入者名	萬道 浩子
事業対象	指定管理者の許可を受けた者、利用者				
総合計画	基本構想	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	地域福祉の充実		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	施設維持管理（修繕）業務
根拠法令	無				
根拠例規	有	坂井市公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例・坂井市三国社会福祉センター条例・坂井市三国社会福祉センター条例施行規則			
関連計画・マニュアル	有	坂井市公共施設マネジメント白書—今後の公共施設のあり方・改善の方向性			

【事業の概要】	<p>三国社会福祉センターを効率的に管理運営し、市民の福祉の増進と文化生活的維持向上を図ります。</p>
	<p>社会福祉法人坂井市社会福祉協議会へ指定管理を委託しています。 施設の運営管理の他、坂井市社会福祉協議会みくに支部・れんげの家・坂井市障がい者雇用ネットワークセンターの事務所として使用しています。 指定管理期間 平成25年度～27年度</p> <p>「事業内容」 三国社会福祉センターの運営業務 施設維持管理業務 坂井市社会福祉協議会みくに支部等の事務局</p> <p>【委託料】 14,629,774円 【需用費・修繕料】 918,000円（防水改修工事）</p>

予算	款	民生費	項	社会福祉費	目	社会福祉施設費					
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		
			報酬	千円	千円	千円	千円				
			委託費	14,630	14,211	千円	千円				
			需用費	918	1,764	千円	千円				
			役務費	千円	千円	千円	千円				
			その他	千円	50	千円	千円				
			事業費合計	15,548	16,025	千円	千円				
			人件費	正職員	0.26人	1,827	0.42人	2,986	千円	人	千円
				臨時職員	0.10人	253	0.00人	千円	人	千円	
				人件費合計	0.36人	2,079	0.42人	2,986	千円	人	千円
	事業費	総事業費		17,627	19,011	千円	千円				
		特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円				
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円				
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円				
			地方債	千円	千円	千円	千円				
その他			300	千円	千円	千円					
一般財源		17,327	19,011	千円	千円						
財源合計	17,627	19,011	千円	千円							

成果	指標名	単位	年度	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
成果	利用者収入	円	目標値	1002000	達成率	1860000	達成率	1860000	達成率	1500000	達成率
			実績値	1153275	115.1	1008100	54.2	1531375	82.33	2681050	178.74
成果	利用者数	人	目標値	28156	達成率	33618	達成率	32310	達成率	36977	達成率
			実績値	25470	90.46	27117	80.66	29566	91.51	37869	102.41
活動	利用者数	人	目標値	28156	達成率	33618	達成率	32310	達成率	36977	達成率
			実績値	25470	90.46	27117	80.66	29566	91.51	37869	102.41
活動	利用者満足度(普通以上)	%	目標値	100	達成率	100	達成率	100	達成率	100	達成率
			実績値	77.8	77.8	74.5	74.5	74.4	74.4	95.9	95.9
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

すぐにできる改善提案	引き続き、より効果的な利用に努めていただくよう、社会福祉協議会に要請、指導していきます。	
目標年度 平成27 年度		
取組状況	指定管理委託期間の最終年度ですが、無駄のない効果的な利用に努めていただくよう、社会福祉協議会に要請・指導します。	
中長期的に取り組むべき改善提案	引き続き、より効果的な利用に努めていただくよう、社会福祉協議会に要請、指導していきます。	
目標年度 平成27 年度		
取組状況	指定管理委託期間の最終年度ですが、無駄のない効果的な利用に努めていただくよう、社会福祉協議会に要請・指導します。	

【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	B
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない
【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる
【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき
【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断理由	平成25年度から27年度まで、坂井市社会福祉協議会と3年間の協定を結んでいるため、このまま継続します。今後、施設について廃止の方針は出ていますが、平成27年度以降については未定です。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断理由	平成25年度から27年度まで、坂井市社会福祉協議会と3年間の協定を結んでいるため、このまま継続します。今後、施設について廃止の方針は出ていますが、平成27年度以降については未定です。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断理由	平成25年度から27年度まで、坂井市社会福祉協議会と3年間の協定を結んでいるため、このまま継続します。ただし、年度ごとに収支を精算します。今後、施設について廃止の方針は出ていますが、平成27年度以降については未定です。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断理由	平成25年度から27年度まで、坂井市社会福祉協議会と3年間の協定を結んでいるため、このまま継続します。今後、施設について廃止の方針は出ていますが、平成27年度以降については未定です。			
すぐにできる改善提案	引き続きより効果的な利用に努めていただくよう、坂井市社会福祉協議会に要請、指導していきます。			
目標年度 平成27 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	今後、施設について廃止の方針は出ていますが、平成27年度以降については未定です。引き続き非公募の指定管理者を委託していくのであれば、現状維持で取り組みます。			
目標年度 平成28 年度				

【事業の成果】	成果	利用者数	人	目標値	28156	達成率	33618	達成率	32310	達成率	36977	達成率
				実績値	25470	90.46	27117	80.66	29566	91.51	37869	102.41

事務事業名	三国健康管理センター管理運営事業 三国			事業コード	03010510101
所管部署	福祉課（三国支所）	電話	82-8903	記入者名	萬道 浩子
事業対象	市民（65歳以上の高齢者・市民・老人会など）				
総合計画	基本構想	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	高齢者福祉の充実		事業種別	施設管理事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	施設の清掃及び警備保障等
根拠法令	無				
根拠例規	有 坂井市都市公園条例・坂井市都市公園三国運動公園健康管理センター規則				
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

高齢者が要介護に陥ることなく、健康でいきいきとした生活を送れるように、予防事業を行う施設の維持管理を行います。

高齢者の体力健康の増進のための高齢者福祉施設として、三国運動公園健康管理センターの維持管理を行う。

需用費	消耗品費	124,153	円
	燃料費	2,029,644	円
	光熱費	13,219,542	円
	修繕料	2,768,340	円
	医薬材料費	0	円
役務費	通信運搬費	64,452	円
	手数料	165,348	円
	保険料	19,591	円
委託料		3,104,365	円
使用料		100,966	円
備品購入費		40,960	円

【事業の目的・事業の概要等】

すぐにできる改善提案	利用者の公平をはかるため、他地区に合わせて施設使用料を徴収するように改善したいと考えます。建物の修繕を施していきます。ボイラーの老朽化により交換を予定しています。
目標年度 平成27 年度	
取組状況	受益者負担適正化検討委員会にて施設使用料について検討しました。
中長期的に取り組むべき改善提案	当センターは老人クラブの利用が多く、社協三国支部が担当している老人クラブ連合会事務局にも都合がよく、サロン活動にも便利で、尚且つ経費も削減できるので、指定管理者制度を取り入れたほうが良いと考えます。また、もっと広い世代の活用も視野に入れて協議したいと考えます。
目標年度 平成27 年度	
取組状況	このまま、高齢者施設としての利用ばかりでなく、今後のフレキシブルな活用について検討しました。

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	B
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	C
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

予算	款	民生費	項	社会福祉費	目	老人福祉施設費				
コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	3,104	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	18,142	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	249	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	142	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	21,637	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.30 人	2,108 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.90 人	2,273 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	1.20 人	4,380 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		総事業費	26,017	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円		
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円		
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	11,974	千円	千円	千円	千円			
		一般財源	14,043	千円	千円	千円	千円			
	財源合計	26,017	千円	千円	千円	千円	千円			

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	公平な利用のため、市の方針に従って利用者に対し施設使用料を徴収するように改善していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	高齢者の施設としてばかりでなく柔軟な活用について検討し、主管課の移行についても協議します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	建物の老朽化により、修繕（特に雨漏り）が多発しています。屋上全体の防水を施せるよう要望します。平成27年度はボイラーの交換を実施する予定です。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	国体推進課の事務室が入り、再任用職員が教育委員会所管となったことから、今後、教育委員会が管理するのであれば現状を維持します。			
すぐにできる改善提案	公平な利用のため、市の方針に従って利用者に対し施設使用料を徴収するように改善していきます。			
目標年度 平成28 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	今後、担当課の移行について協議していきます。			
目標年度 平成27 年度				

【事業の成果】	成果	利用者数	人	指標名	単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
				目標値	達成率	達成率	達成率	達成率		
	実績値	9348	---	9841	---	11277	---	11803	---	
	活動	利用者数	人	目標値	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	
				実績値	9348	---	9841	---	11277	---
					目標値	達成率	達成率	達成率	達成率	
					実績値					
					目標値	達成率	達成率	達成率	達成率	
					実績値					
					目標値	達成率	達成率	達成率	達成率	
					実績値					